

2025年12月

繊維系三学会合併（一法人化）に関する協議の進捗と今後の見通し

一般社団法人日本繊維機械学会会長 田上 秀一

平素は、日本繊維機械学会の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、まことにありがとうございます。

さて、繊維系三学会合併（一法人化）に関する協議につきましては、昨年第一次合併協議案をみなさまにお示しし、さらに今年6月に開催されました通常総会において、現在の進捗状況および見通しについて、会員のみなさまへ説明をさせていただきました。

第一次合併協議案をお出しして以降も、繊維系三学会合併に関する協議会は継続して開催されており、引き続き協議は続いております。その進捗状況については、本学会理事会の席で報告させていただいておりますが、会員のみなさまへはまだお知らせしていない状況です。そこで、2025年6月の通常総会時に行いました説明会資料からの進捗と今後の見通しについて、簡単になりますが、みなさまへお知らせいたします。

1. 繊維系三学会合併（一法人化）に関する協議会の進捗状況

第一次合併協議案から議論を深化させることで新たに浮上した事務局、財務、催事、研究会などの問題点について、協議を継続しております。また、第一次合併協議案からアップデートが止まったままなので、できるだけ早急に修正案を示すべく、内容の協議を続けています。

2. 今後の見通し

各学会の現状を踏まえ、慎重に協議を続けています。そのため、総会時の説明会で予定としていた2025年9月での議決権行使は見送りました。今後の見通し（いわゆるスケジュール感）については、日々変化する各学会の状況を踏まえ、今のところ具体的な日取りを示すことはできませんが、議決権行使については、従来の予定から遅れる見通しです。

本件に関して、ご不明な点やご意見、ご要望などございましたら、どんな些細なことでも結構ですので、学会事務局までお寄せください。

会員のみなさまにおかれましては、引き続き、本件に関して、ご理解とご協力をたまわりますよう、なにとぞよろしくお願ひ申し上げます。

以上